



平成30年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【大野北地区】

平成31年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 大野北地区民生委員児童委員協議会	救急カード配布 高齢者安心見守り強化 事業	地区内の高齢化の進行及び認知症等要支援対象者の増加に伴い、現状の地域のサポートでは有事の際のサポートに不足を生じ始めている。そこで、そのサポートを補完する新たな手立てが必要となったと感じた。	有事の要支援者等へのサポートを補完するために「救急安心カード」を作成、配布して、それを携帯していただくことで、円滑な支援を行う。	既に実施している一人暮らし高齢者等の訪問に合わせ、「救急安心カード」を配布する。 通常の面談に加えて、カードに必要事項を記入してもらう(または、担当民生委員が代筆する)。有事の際の行動について、再確認をする。  ・カード作成数 1,500部 ・配布期間 平成30年10月から12月まで	H30.10.2	328,000	328,000	328,000
2 ふちのべ大学	ふちのべウィンターデコレーション事業	淵野辺駅北口は、桜美林大学と駅前の木のライトアップのみで駅デッキ周辺は暗かったため、そこも飾り付けることで淵野辺駅がより明るく、そして楽しい写真スポットになると考えた。昨年、ふちのべ大学で初の試みとしてウィンターデコレーション(イルミネーション)を実施した。青山学院大学、桜美林大学、麻布大学からの団体が点灯式に参加し、公演とイルミネーションによって子供から大人まで多くの人々が楽しめる場をつくり、淵野辺を盛り上げることができた。昨年に続き、今年はよりクオリティを上げたイルミネーション・点灯式を開催したい。	3つの大学の学生と地元の方々が協働してイルミネーション事業を行うことにより、大野北地区の住民への地域に対する興味関心の増進を図る。	・11月30日(金)午後6時15分 にこここ星ふちのべ商店会と共同で点灯式を開催(小学生の演奏、大学生の歌、桜美林大学留学生が司会を兼ねて母国のクリスマスを紹介)  ・11月30日(金)～1月15日(火) イルミネーション点灯期間	H30.11.20	270,000	216,000	216,000
3 大野北地区コミュニティバス利用促進協議会	大野北地区コミュニティバス利用促進事業	コミュニティバスについては、大野北地区の交通不便地区における生活交通を確保するため、平成26年2月から実証運行を開始した。平成28年2月から運行ルートを見直すとともに急行便を設定し、平成29年4月から平日便の本格運行を開始したが、平成29年度は、運行継続条件を満たさなかったため、平成30年度に運行内容の見直しを行い、見直した内容で平成31年度より運行予定である。	当地区の高齢化等も見据え、大野北地区の交通不便地区における生活交通を確保するため、コミュニティバスの運行継続のために必要な利用促進活動を行うとともに平成31年4月1日のダイヤ改正についての周知を行う。	路線周辺世帯へのダイヤ改正リーフレットの作成、配布 路線沿線の公共施設等へのコミュニティバスの利用促進活動及びダイヤ改正について周知活動 地域のイベント等でのコミュニティバスの利用促進活動及びダイヤ改正について周知活動	H31.2.19	300,000	150,000	150,000
- 相模原市自治会連合会中央区連絡会	中央区振り込め詐欺対策事業  9地区合同事業	全国で多くの被害を出している振り込め詐欺だが、相模原市、中央区もその例外ではなく、平成29年に確認された被害件数は相模原市全域で83件(被害額:約2億3,500万円)、中央区内は41件(被害額:約7,700万円)に上っている。各地区においても対策を求める声は多く、警察や行政の取り組みに加え、自治会をはじめとした、地域の住民自身による啓発活動等も実際に行われている。しかしながら、平成30年に入ってから被害件数は増加傾向にあり、警察・行政と地域とが連携した一層の取り組みが必要となっている。	詐欺被害の中でも特に近年の高齢者の詐欺被害増加に着目し、高齢者向けの詐欺対策を講じることで、1件でも多くの詐欺被害を未然に防ぐことを目的とする。	・振り込め詐欺防止のステッカーを作成し、各地区において自治会加入者に限らず詐欺被害が危惧される高齢者世帯を対象に配布する。 ・ステッカーを自宅の電話機付近に貼ってもらうことで、詐欺に対する意識を高め、被害を未然に防ぐ。	H30.12.13	138,000	138,000	138,000
						898,000	694,000	694,000

9地区合同事業以外の合計額